

令和4年4月1日

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業
戦略的国際共同研究プログラム（SICORP） 日・シンガポール共同研究
「ヒト老化の生物学的・分子決定因子」における事後評価コメント

研究開発課題名	加齢性大脳白質病変の決定因子の解明
研究開発機関名	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
研究開発代表者名	猪原 匡史

CADASIL 患者由来 iPS 細胞から樹立した OPC 細胞を用いた in vitro 実験および各種疾患動物モデルを用いた in vivo 研究を着実に進行させ、疾患に対してフィンゴリモド、Ac-YVAD-cmk などの薬剤の有効性を明らかにすることで新たな治療戦略の可能性を示したことは大いに評価できる。また両国で in vitro と in vivo 解析を相補的に行い、得られた成果を共著論文に結実させるなど、バランスの取れた研究体制を構築したことは意義がある。今後は研究を継続し、残された課題をさらに発展させ、将来的に研究成果を社会還元させることを目指していただきたい。

以上